



「実践人の家」理事長
浅井周英

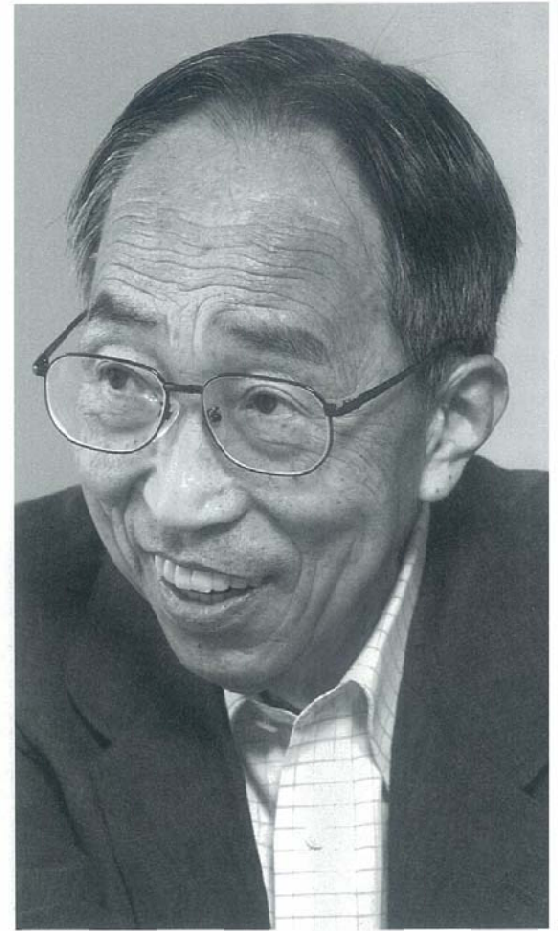
あさい・しゅうえい——昭和11年和歌山県生まれ。35年和歌山大学卒業後、教師となる。50年和歌山市教育委員会に入り、平成4年同教育長、8年より同助役を務める。18年9月より森信三師が創設した「実践人の家」の理事長を務める。

『修身教授録』 がひらいた世界

「国民教育の師父」として二十世紀の教育界に大きな足跡を残した森信三師。師には「森信三全集」全二十五巻、「統 森信三全集」全八巻……と膨大な著作があるが、いまなお多くの人に読み継がれているのが『修身教授録』である。その恩徳は、いまや教育界にとどまらず、実業界をはじめ広く一般に及んでいる。森信三師に長く仕えてきた高弟のお二人、寺田一清氏と浅井周英氏に、この人間学の名著『修身教授録』の魅力についてお話しいただいた。

対談

人間学の名著



不尽叢書刊行会代表
寺田一清

てらだ・いっせい——昭和2年大阪府生まれ。旧制岸和田中学を卒業し、東亜外事専門学校に進むも中退。以後、家業の呉服商に従事。40年以來、森信三師に師事、著作の編集発行を担当する。「実践人の家」元常務理事。著書・編著に「森信三先生随聞記」「二宮尊徳一日一言」「森信三一日一語」(いずれも致知出版社)など多数。